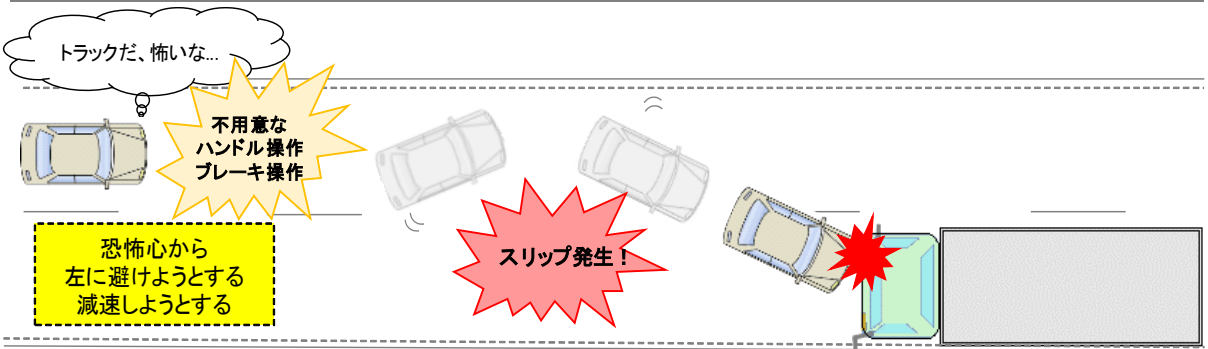


【恐怖心や驚愕によるスリップ事故のメカニズム】

スリップによる正面衝突事故が発生する要因として、対向車線を進行してくる車両（特に大型車）から受ける心理的な圧迫から、間隔を取ろうとしたり、減速しようと不用意なハンドル操作やブレーキ操作によってスリップを発生させてしまい、車両の制御ができないまま対向車線にはみ出し、正面衝突事故となるケースがあります。



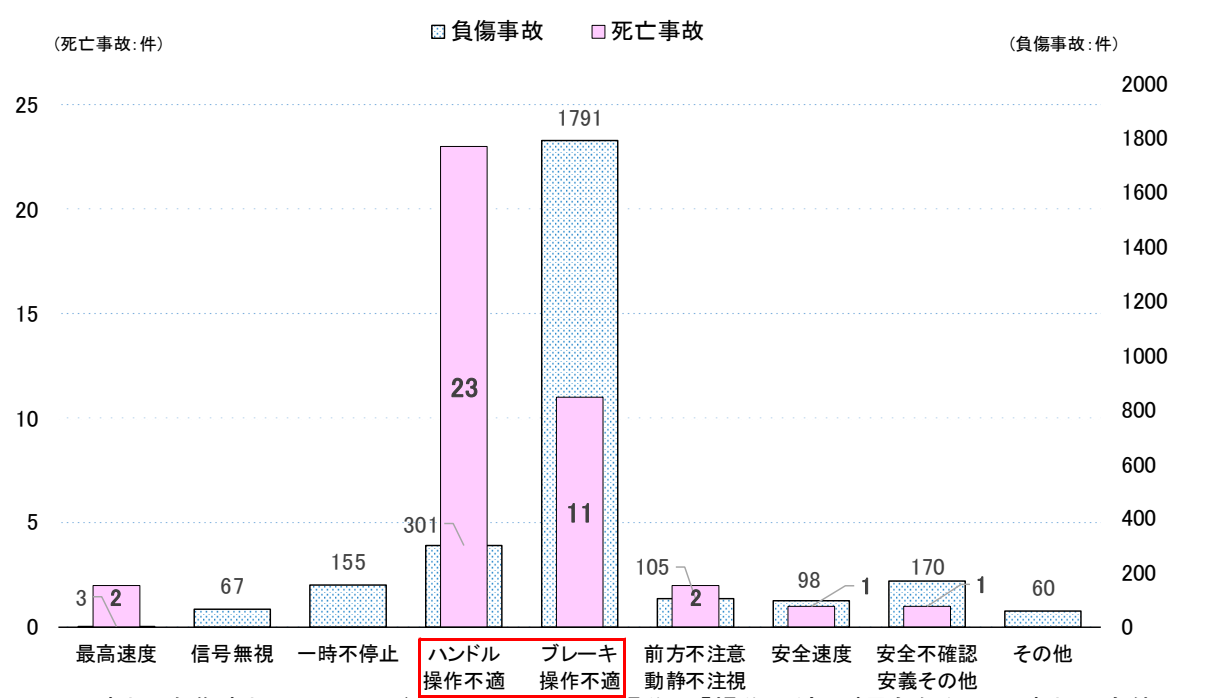
トラックだ、怖いな...

不用意な
ハンドル操作
ブレーキ操作

恐怖心から
左に避けようとする
減速しようとする

スリップ発生！

交通事故第一当事者の法令違反別スリップ事故件数（令和元年度から令和5年度の冬季累計）



死亡事故、負傷事故共に、ハンドル操作やブレーキ操作の「操作不適」が最も多く、死亡事故は全体の約9割を占めている。